

○２３番（大條雅久）（登壇） 自民クラブの大條雅久です。

ただいまから、通告に従い質問をさせていただきますのですが、７月に入りますと、たちまち国政選挙、参議院選挙が始まります。新居浜市におきましては、それに加え、県議会議員の補選が先立って始まることになります。

混沌とする国際情勢の中で、国の内外でいろいろなことが起きております。急速に進む少子高齢化、物価高騰、それらも国際社会の動きと国内の動き、連動しております。それに対応すべき政治、これに関心を持っていただきたいという思いがあります。

近年の投票率の低下には、憂うものがあります。あわせて、新居浜市でも同様ですが、地方都市での自治会加入率の低下、数字的にはどちらも半分を切ろうかとしている。ぜひとも、選挙に関しては、国民に与えられた権利というよりも、責務だという思いを持っていただきたいなという気持ちを強くしております。

ぜひとも、来る参院選挙、県議会補選が従来以上の投票率になるよう、選挙管理委員会の方々、また、理事者の方々、私どもも一生懸命参加を訴えていきたいと思えます。

長くなりました。ただいまから質問をさせていただきます。

まずは、2025年日本国際博覧会への太鼓台派遣について。

公式略称では大阪・関西万博と呼ばれる今回の万博は、開催前に各種報道機関から流布された前評判とは違い、連日多くの観客が訪れ、長蛇の列ができているとテレビや新聞の報道を見聞きいたします。

先日の５月21日は新居浜デーということで、ゼロ泊２日という強行日程にもかかわらず、見事なかきあげを披露していただいた多くのかき夫の方々には、本当に感謝をいたします。ありがとうございました。新居浜太鼓祭りの魂とも言える心意気を、大阪・関西万博の会場から世界に発信していただいたことに感謝です。そして、ダンスパフォーマンスグループ浜っ鼓★弾★DANの皆さんにも感謝してやみません。

丸一日行われた大阪夢洲EXPOアリーナでの新居浜デーには、自伝的映画「新居浜ひかり物語青いライオン」が公開され、全国的に注目されている新居浜在住の画家石村嘉成さんや、多くのコアなファンを持つ声優であり、歌手の水樹奈々さんなど、新居浜出身の著名人、有名人に見事な花を添えていただきました。

そこで改めてお聞きします。

新居浜市を知っていただき、新居浜市に関心を持ち、足を運んでいただくきっかけづくりに、豪華けんらんな新居浜太鼓祭りの紹介に３台の太鼓台派遣事業を実施したと理解しておりますが、今回の太鼓台派遣及び大阪・関西万博の大阪夢洲EXPOアリーナでのイベント開催及びクラウドファンディングを含む事業全体の予算の収支と成果を、新居浜市としてはどのように総括されているのでしょうか。

事業予算の収支及び成果検証の内容について御答弁ください。

○議長（田窪秀道） 答弁を求めます。古川市長。

○市長（古川拓哉）（登壇） 大條議員さんの御質問にお答えいたします。

2025年日本国際博覧会への太鼓台派遣についてでございます。事業全

体の予算収支と成果についてお答えいたします。

まず、予算収支のうち、支出につきましては、昨年度と今年度合わせて5,000万円の歳出予算となっておりますが、現在のところ最終額は確定しておりません。

収入につきましては、ふるさと納税のクラウドファンディングが約37万円、一般寄附と企業版ふるさと納税が約960万円で、現段階で合計約1,000万円となっております。

次に成果でございますが、当日現地で観覧された外国人を含む多くの皆様から、とてもよかった、ぜひ本番の太鼓祭りも見てみたい等の高い評価のお声をいただきました。

また、新居浜市出身の来場者からは、懐かしさを感じた、ふるさとの誇りを再認識したといった感想も寄せられ、新居浜太鼓祭りを全国、さらには全世界にPRする貴重な機会となったものと考えております。

さらに、参加された各太鼓台関係者からも、大変だったけど参加してよかった、新居浜太鼓祭りの魅力を世界に発信することができたといった前向きな御意見も多くいただいております、新居浜市民のシビックプライドの醸成にもつながったのではないかと感じております。

また、報道機関をはじめ、個人のSNSなど多くのメディアに取り上げていただいたことにより、情報発信の面においても大きな成果が上がったと考えております。

今回の太鼓台派遣は、55年ぶりの万博への参加という歴史的な意義を有し、非常にタイトなスケジュールではございましたが、関係者の御尽力により、各太鼓台がすばらしい演技を披露していただきました。

さらには、ふるさと観光大使の水樹奈々さんのステージや、浜っ鼓★弾★DANのパフォーマンス、新居浜南高生による本市の紹介、石村嘉成さんのライブドローイングなど、様々な面から本市の魅力をPRすることができたと考えております。

また、今回の事業に参加していただいた高校生や中学生のボランティアが、まだ見ぬ次回の万博の語り部になってくれるものと期待しております。

そして、これで終わりということではなく、今年の新居浜太鼓祭りへの波及効果や、市内外からの反響なども踏まえ、太鼓台派遣事業の成果と課題を検証しながら、今後の観光振興や誘客、地域の魅力の発信につなげてまいりたいと考えております。

○議長（田窪秀道） 大條雅久議員。

○23番（大條雅久）（登壇） 御答弁ありがとうございます。

また、今回のイベントに裏方として参加された市役所職員のスタッフの皆さんも本当に御苦勞様でした。55年前に引き続き、万博の場で新居浜をアピールする、大いに意味があったと思いますが、同時に収支に関して、反省点等はやはりあるかと思っております。次に生かす機会があると思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。